

# 競技・運営上の確認事項

- 1 競技は、2024 年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則および 2024 年度（公財）日本バレーボール協会競技要項、2024 年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部の6人制ルールの取り扱いによる。リベロ・プレーヤーは、試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 競技日程及び方法は、プログラム記載の通りとし、予選グループ戦及び決勝トーナメント戦による。なお、試合は3セットマッチとし、3位決定戦は行わない。
- 3 今大会は、（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部における「給水のためのタイムアウト」及び「熱中症対策としての団扇使用」を採用する。
- 4 試合開始の予定時刻を定めているが、第2試合以降は、予定した時刻より遅れることがあっても、早く開始されることはない。試合開始時刻とは、最初のサービス許可のホイッスルの時刻である。試合が、予定時刻より早く終わった場合、そのコートでは、試合開始予定時刻 16 分前まではボールを使用した練習はできない。各試合とも、5分の合同練習（パス程度）後、プロトコールに入る。なお、当該チームの試合が連続してしまう場合は、前の試合が2セットで終了した場合は10分間、3セットの場合は15分間空けて、その後、合同練習、プロトコールに入る。なお、第1試合開始前のチーム練習については、練習内容の制限はしない。（ネットの使用も可とする。）
- 5 試合に関して、ベンチ及びフロアには有効に登録された監督、コーチ、マネージャー、選手及びチーム補助生徒（5名以内）以外は入ることができない。但し、チーム補助生徒は、公式練習後はベンチ及びフロアに留まることはできない。
- 6 監督、コーチ、マネージャーのマークは、左胸部につけること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。
- 7 スタッフ（監督・コーチ）は、統一された服装（靴・靴下は省く）でベンチに入ること。（監督と合わせられない場合は、コーチがベンチから退出することになる。）また、マナーについては十分留意すること。選手の競技用ユニフォームについては、サポーター、ソックス等、ユニフォーム規定に従うこと。
- 8 試合コート及びフロアでのボール使用は、公式練習とセット間（フリーゾーンのみ）以外認めない。（ネットを使用しているチームの練習の妨げにならないようにする。）また、ロビー等でのウォーミングアップは禁止するものとし、他は会場ごとに定められた規則に従うこと。

- 9 キャプテンは、試合開始あいさつで使用した各校プラカードを、あいさつ後にコート担当役員に渡す。また、試合終了あいさつの際は、コート担当役員からプラカードを受け取る。
- 10 エントリーの変更・訂正は、監督会議終了時に競技委員長に提出すること。これ以外の変更は、如何なる場合も一切認めない。変更あるなしにかかわらず提出すること。
- 11 決勝トーナメント戦の組み合わせ抽選会は、男女別に予選グループ戦の全試合終了後、準備が出来次第、福井県営陸上競技場本部室にて行う。
- 12 開会式に参加する選手は12名以内とし、チームで統一したユニフォームを着用すること。リベロであっても統一したユニフォームで参加すること。選手以外にマネージャーの参加も認める。ただし、マネージャーのユニフォーム着用は認めない。
- 13 男子決勝戦終了後に、セーレン・ドリームアリーナにて表彰式を行う。1・2位の男女チームは競技用ユニフォームで参加すること。また、3位の表彰については、それぞれの準決勝戦終了後、コート上で行う。
- 14 その他
- (1) 部旗・校旗を持って開会式・表彰式及びコートに入場することは禁止する。
  - (2) 各会場（練習会場含む）の規則に従うこと。特に上履きと外履きを区別すること。
  - (3) 体育館の開館時刻は8時00分、練習開始時刻は第1試合のチームのみ8時30分からとする。ただし、22日（木）セーレン・ドリームアリーナの開館時間は11時とし、練習することはできない。22日（木）福井市体育館は入場できない。
  - (4) 館内の、チーム関係者のみが入場できるスペースでは、選手、スタッフともにIDを着用すること。コートに入ればIDを外しても構わないが、外部指導者はコーチ確認書を兼ねているので、IDを着用しておくこと。
  - (5) 給水は、主催者より提供されたスクイズボトルを使用すること。スタッフは、原則として各自の水筒を利用するが、ペットボトルを持ち込む場合にはラベルをはがすこと。
  - (6) 試合中、スマートフォン・タブレット・トランシーバー・インカム等の電子機器を使用することはできない。
  - (7) 本大会に関する質問や問い合わせは、全て大会事務局へ連絡すること。職務に支障をきたすため、大会会場や練習会場となっている体育館や学校関係施設などへの問い合わせは行わないこと。

# 全国大会参加チームのユニフォームの規定について

2023. 5. 27 改訂

公益財団法人日本中学校体育連盟バレーボール競技部

## 1 ユニフォーム

- ① ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）とショーツ（パンツ）を指す。  
競技者はジャージをショーツの中に入れて競技を行う。
- ② ユニフォームの色及びデザインは、チームで統一されなければならない。  
また、ソックスはくるぶしが完全に隠れる長さであること。尚、ソックスについては、色及びデザインがチームで統一されていることが望ましい。
- ③ リベロプレーヤーはチームの他の競技者とはっきりと区別できる対照的な色（左右対称・上下対称・表裏対称等ではなく、はっきりと区別できるデザインであること）のユニフォーム（少なくともジャージ（シャツ）だけは）を着用するか、もしくはチームの他の競技者とはっきりと区別できる対照的な色のビブスを着用しなければならない。

## 2 競技者番号

- ① 対照的な色と明るさで、胸部中央と背部中央に明確に表示されなければならない。
- ② 競技者番号は1～20番まで（1～12番が望ましい。）とする。（やむえない場合1～99番まで認める。）
- ③ 競技者番号のサイズは、胸部中央は高さ10～15cmで字幅2cm以上、背部中央は高さ15～20cmで字幅2cm以上とする。
- ④ ショーツ（パンツ）前面右下に、高さ4～6cm、字幅1cm以上の競技者番号を付けてもよいが、全員がそろっていないなければならない。

## 3 チームキャプテン

チームキャプテンは、胸部中央の選手番号の下に、長さ8cm、幅2cmのマークを、ジャージ（シャツ）と異なった色で付けなければならない。

## 4 チームネーム

- ① ジャージ（シャツ）の胸部もしくは背部には、正式な学校名（チーム名）またはその略称をつけなければならない。略称は、明らかに正式な学校名（チーム名）がわかるものとする。特にナンバーズクールや、学校名に東西南北のついている学校においては、市町村名が明確であること。

**※胸部と背部の両面や胸部と背部に分けての表示は許可されない。**

### [略称の解釈]

#### (1) ナンバーズクール・東西南北の中学校

チームネームに市町村名を使用しなければならない。

但し、「〇〇立」を省略しても構わない。

「例：ナンバーズクール」

交野市立第三中学校（正式名称） ○  
交野市立第三 ○  
交野三・交野3・交野Ⅲ ○  
KATANO3・KATANOⅢ ○  
交三・交3・交Ⅲ ×

「例：東西南北」

大阪市立西中学校（正式名称） ○  
大阪市立西 ○  
大阪西 ○  
OSAKA WEST ○  
大西・西・WEST ×

- (2) ナンバースクール・東西南北以外の中学校  
チームネームに市町村を使用しなくてもよい。  
但し、「〇〇立」を省略しても構わない。

〔例〕 大阪市立山田中学校（正式名称）	○
大阪市立山田	○
山田中学校	○
山田	○
大阪山田	○

ジャージ（シャツ）に都道府県名を付ける場合は、左右どちらかの袖一カ所とする。

ジャージ（シャツ）に袖がない場合には、胸部左あるいは背面中央襟下に付けることとする。

## 5 その他の表示

- ① **上記2～4以外のものでユニフォームに付けられるものは、校章のみとする。**但し、胸部のみとする。  
〔特例〕正式に申し入れがあり協議の上認められた北海道の地図の形のマークは、北海道チームのみ袖に付けることができる。ただし、「北海道」あるいは「HOKKAIDO」などの文字を入れるものとする。  
袖がない場合には、胸部左あるいは背面中央襟下に付けることとする。
- ② 地域スポーツ団体については、**シンボルマークがある場合は、校章として扱う。**但し、団体シンボルマークとチームシンボルマーク等の2つ以上を付けることは許可されないものとする。
- ③ 地域スポーツ団体については、広告（スポンサー名）を付けることは許可されない。但し、チーム名に企業名が含まれる場合はチーム名として扱うこととする。  
※スポーツメーカーのロゴは例外、消す必要はない。

## 6 アンダーウェア等について

- ① アンダーウェアは個人あるいはチーム全員であっても、ユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
- ② 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険がある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
- ③ 明らかに色が違う腰に巻くサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

## 7 ハチマキ

ハチマキやサポーター類は、ユニフォームに準ずるものとし、刺繍等の表記は**学校名（チーム名）のみ**とする。

## 8 チーム役員の服装

- ① チーム役員は、ジャケットを着用するか、チームで統一された服装でなければならない。
- ② 監督がジャケットを着用し、その他のチーム役員が統一された服装であれば許可される。
- ③ 統一された服装であっても、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- ④ マネージャーは生徒のため、①～③はマネージャーには適応されない。

## 9 合同チームのユニフォーム

- ① いずれか1チームのユニフォーム（リベロプレーヤーも含む）を使用する。
- ② 合同チームとしてのユニフォームの使用も認める。ただし、上記1～7を満たしていることを条件とする。（チームネームは、ジャージ（シャツ）の胸部もしくは背部には、合同チーム全ての正式な学校名（チーム名）またはその略称をつけなければならない。）

## 競技委員会資料

### 1 大会使用球に関して

- 奇数年度（令和5年）男子モルテン V4M5000・女子ミカサ MVA400
- 偶数年度（令和6年）女子モルテン V4M5000・男子ミカサ MVA400

### 2 監督会議出席の服装に関して

- 平成23年7月3日確認文書「全国中学校体育大会 全日本中学校バレーボール選手権大会「監督会議・決勝トーナメント抽選会に出席される監督の服装に関して」の文書の基づく（公財）日本中体連バレーボール競技部発行

※ビーチサンダルやランニングシャツ・短パン等での出席を控える（禁止とする）

## 「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについて

- 1 大会では、各セット（第3セットを含む）において、リードするチームが13点に達したとき、30秒間のためのタイムアウト（以下WTO）が自動的に適応される。その際、副審が吹笛をし、コートを退くよう促し計時する。ハンドシグナルは示さない。
- 2 このWTOは給水を目的とするものであり、その間選手はウォームアップエリア（付近）で給水を行う。またチームスタッフはベンチに座っているものとする。  
（給水を行うか否かの判断は、選手本人の意思による。給水を行わなくても同エリア内に止まること。控えの選手も同様である。）
- 3 第3セットは、13点でチェンジコートをした後に引き続きWTOとなる。その際、主審側を通過してコートを移動したチームの最後尾の選手がベンチ側のサイドラインを通過した時点で、副審が吹笛をし、計時を始める。
- 4 正規の中断の要求やリベロプレイスメントよりもWTOを優先する。正規の中断の要求やリベロプレイスメントを行う場合は、WTOの後にその手続きをする。

\*給水タイムは給水及び汗拭きを目的としているので、給水タイム中は次の点に注意すること。

プレーヤー            ウォームアップエリアにおいて給水することが出来る。モップをかけるためにコートへ入ることは許されるが、それ以外はウォームアップエリア付近にいることとする。ウォームアップエリアへは最短距離となるコースを通過して移動する。

チームスタッフ        ベンチに着席すること。プレーヤーに対して戦術的な指示を出すことは出来ない。ただし、マネージャーは給水などの補助のため、ウォームアップエリアに行くことは認められるが、監督、コーチからの戦術的な伝言等をしてはならない。

\*WTO後、選手がコートインしたら通常のTOの取り扱いと同様にする。

## (公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における 「熱中症対策としての団扇使用」の取り扱いについて

(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部

- 1 ベンチマナーの観点により、現在まで団扇の使用を禁止してきた経緯がある。しかし、現在熱中症対策が必要不可欠な課題である。そのため熱中症予防の観点から、(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部が主催する大会で「熱中症対策としての団扇使用」を採用する場合、次のように取り扱うこととする。
  - ① 使用は、セット間・タイムアウト・給水タイムアウトのみとする。
  - ② 使用場所はウォームアップエリアやベンチ周辺とする。
  - ③ 団扇の数には制限はないが、チームスタッフ及びリザーブ選手が保持することなく、ベンチもしくはウォームアップエリアで保管すること。
  - ④ 団扇の大きさには規定を設けないが、極端に大きなものは使用しない。
  - ⑤ 団扇にチームのロゴ等が記載されていても構わないが、装飾としての使用は認めない。※①～⑤は、チームスタッフ及びリザーブ選手にも適応する。

各ブロック・各都道府県大会等で、開催要項に「給水のためのタイムアウト」を採用している場合において「団扇使用」を認めることとする。

以 上

## (公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における 「ベンチ内持ち込み物」の取り扱いについて

(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部  
競技委員会

- 1 試合進行にかかわりが無い物を露出することを禁ずる。
  - ・ダルマやマスコット人形、寄せ書きや応援グッズ等。
- 2 作戦に関する物は、以下の基準に当てはまる物は持込使用を許可する。
  - ・監督・コーチ・マネージャーのみが常時携帯でき、速やかに危険回避できること。
  - ・素材が安全な物(紙・プラスチック)。
  - ・大きさは使用時の最大がA3版以内であること。  
(A4のファイルを使用する場合、広げるとA3になるため。)
- 3 応急処置(救急バック)物品・熱中症対策(水分やタオル等)物品の持ち込みは許可する。  
団扇については開催要項に「給水のためのタイムアウト」を採用している場合のみ許可する。  
※団扇の扱いは「熱中症対策としての団扇使用」の取り扱いについてに準ずる。
- 4 電子機器(スマホ・タブレット・PC・無線端末)等の使用は禁ずる。

以 上